

令和5年度 小規模多機能型居宅介護 よりそいホーム 総括表

法人名	社会福祉法人 秋桜会	代表者	三島木 健	法人・ 事業所 の特徴	職員と利用者が「介護する側、される側」という関係ではなく、共に過ごす時間を大切に、今「何に困っているのか」に着目して支援している。 小規模多機能型居宅介護のメリットが十分に活かすことができるよう一人ひとりの生活に合わせた柔軟なサービスを提供している。急な泊まりの追加などサービス変更にも対応している。訪問では安否確認、健康観察、内服確認、配食等、必要な支援を見極めて援助している。
事業所名	よりそいホーム	管理者	筒井 慈子		

書面開催	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・ 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	0人	4人	0人	0人	2人	2人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤以外の職員の意見を今以上に積極的に採り入れていく。</li> <li>・具体的な取り組みを毎月のスタッフ会議で確認する機会をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤の職員も各担当を担い、個々の意見を伝える機会をつくった。</li> <li>・スタッフ会議では抽象的なものではなく、より具体的なケア方法を検討し、確認することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異動などで新しい職員が来た時も継続できるとよい。</li> <li>・取り組みの中で対応が不十分と評価した部分については分析しながら対応していってほしい。</li> <li>・大変こまめな支援を実践しているのが職員のケアも必要と思う。職員同士の関係性がケアに影響する。</li> <li>・世の中コロナや災害で暗いことが続くが、それぞれ利用者のために取り組む姿勢に感謝したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価の期間だけでなく、毎月のスタッフ会議で自己評価9項目についての計画に添って活動しているかを確認する。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染対策を継続しながら段階的に制限を緩和していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黙食を中止し、少しずつ会話をしながら食事を楽しむ時間をつくった。</li> <li>・感染症対策としては消毒、換気、マスク着用、検温の徹底を継続している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方が日中出入りしやすい。大型施設だと暗証番号を入れたりロックがかかっていて閉鎖的であるが、こちらは開錠されている。</li> <li>・感染症対策をしながら少しずつ利用者の交流や関わりを以前のように戻すことができ、苦労があったと思うが継続してほしい。</li> <li>・黙食であったが、会話を楽しみながら食事ができるようになり、気持ちの安定にもつながると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の基本的な対策は継続し、空調に配慮したり、四季を感じられる製作物を飾るなど快適な環境を整える。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染対策の影響で利用を控えていたような方が、円滑に相談、利用ができるような体制づくりに努めていく。</li> <li>・感染対策に配慮しつつ、地域との関わりの場を検討し、地域交流を再開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響による利用者の減少はなく、定員の上限までに到達した。</li> <li>・コロナ禍前の平時を取り戻せたとはいえないが、地域への外出、作品展やバザーの復活はできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の支援の成果のひとつとして地域に広く認知され、利用者の登録数が増加していると思う。</li> <li>・地域のイベントはどんなものがあるか、夏まつり、防災訓練、小林こいのぼり大会などに参加した。</li> <li>・町内の誇りと思っているのがありがたい。</li> <li>・コロナ禍前と同様の関わりはまだできていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策を踏まえ、日常を取り戻しつつ以前のように交流の機会をもち、地域行事への参画を復活させ、よりそいホームの周知につなげる。</li> <li>・全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会に入会し、小規模多機能型居宅介護の情報を得ると共に今後の課題を検討する機会をもつ。</li> <li>・小規模多機能型居宅介護が果たしている役割や地域に求められる役割を職員で共通認識できるよう、スタッフ会議や日々の伝達の中で把握していく。</li> </ul>
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策に配慮しながら、地域イベントの参加や外出の機会をつくり、地域交流を復活させていく。</li> <li>・地域団体との交流も方法を検討しながら実施できるよう関係性を保つことに意識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防をしつつ、季節ごとの花の見物や風景を楽しみ気分転換を図った。</li> <li>・地域団体と連絡だけはとり合い、感染が収束したら交流ができるように働きかけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療なのか介護なのかその狭間にいる利用者もいる。制度に疑問を感じるが、経験のない家族が医療職と同等の医療行為を強いられるのは不安が大きい。</li> <li>・地域で孤独死があったり、接触のない高齢者もいるので個人の考えもあり難しい面もあるが、地域としての関わりが重要だと思う。</li> <li>・利用者以外の相談や対応もしており、地域の方々の安心につながっている。</li> <li>・いろいろな場所へ外出したり、地域に向いていこうという気持ちが伝わってきて、日々の活動が利用者の楽しみになっていると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況を考慮しながら、地域の行事の参加をはじめ、利用者の要望に応じた活動を通して活性化した生活支援につなげる。</li> <li>・本人の「できること」「したいこと」へ目を向けて、前向きな感情を生かす関わりを実践していく。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参集できる状況になれば、さらに活発に意見等をいただき、改善につなげていく。</li> <li>・よりそいホームが地域資源として、住民に活用してもらえるよう運営推進会議を有効に活用していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参集での会議が可能となり、事業所の防災に関すること、医療との連携、職員の資質向上のための取り組み、ヒヤリハット報告における再発防止の取り組みを説明した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討はしていないが、独居の方の生活の支援について取り組みを教えてもらい勉強になった。</li> <li>・毎回のテーマに添った資料で取り組み内容を理解できた。</li> <li>・運営推進会議で出た意見を活動の中にとり入れ改善している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議での理解は深められているが、より地域住民に小規模多機能型居宅介護の認識をしていただくためにさらに外に目を向けて積極的に発信していく。</li> <li>・運営推進会議に事業所職員の出席を試みる。</li> </ul>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練は繰り返し実施しているが、新人職員もいるので練度を上げていく。</li> <li>・感染症対策の状況に応じて地域の方の参加を検討するとともに、BCP（事業継続計画）の策定を行い、緊急への対応力を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人職員を主とした防災訓練を実施して課題を抽出した。</li> <li>・BCP の策定を行い、研修にて平時の備えを意識することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災倉庫は地域にあるか→砂田地区にある。</li> <li>・BCP の内容の確認をしたい。→確認する。</li> <li>・備蓄品などの確保はどのようにしているか→法人全体として確保している。</li> <li>・AED の導入を検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP の策定が行われ、今後は災害が発生した場合においてもサービス提供を継続するために平時から準備しておくことを意識していく。BCP の内容に沿った研修や訓練を実施する。</li> </ul>
----------------------------	---	--	--	--